

ツルガ薬局 漢方症例

《 30代女性 耳鳴りとめまい 》

■ 2012年10月10日

「7月頃から耳鳴りと、めまいのようなふらつきが出始めた。」

3ヶ月ほど前から耳鳴りとふらつき(めまい)が出始め、最近ひどくなってきた。ご自身では体力に自信があり、「疲れた」など口にする事は無く、これまで病気なんてなったことがなかったので、このような状態になってつらい。自分で思う原因としては、結婚して生活環境が変わったが、やっと慣れてきてホッとしたのもあり、自分ではストレスとは感じていなくても、多少無理をしていたかもしれないとのこと。

問診すると、

- ・ 見た目は、ガッチリと筋肉で引き締まったというよりは、やわらかそうな感じ
- ・ ほっぺたを中心に、顔が赤い→自分ではのぼせているとは自覚していない
- ・ ハキハキとした性格で、声にもハリがある
- ・ しっかりとした体格でエネルギーに満ちた印象
- ・ 食事も三食、バランスよく食べている
- ・ 子供の頃は少食で給食も残していた

- ・ 眠れてないわけではないが、しっかりと眠れた翌日は症状でにくい感じあり
- ・ 生理異常なし
- ・ 口渇なし、水分過剰摂取も無し
- ・ 尿量や尿の回数も異常なし
- ・ 少し軟便だが固まるほどではない
- ・ 冷えもあるが、つらくはない。

【考察】

食欲もあり体格や声のハリなどから、ある程度の体力状態であると予測できた。水分の体内への出入りに問診からは異常は見つからなかったが、7月頃から起きていること、耳鳴りとめまいの症状の感じ方、しっかりと眠れた翌日は楽ということなどから、胃腸が水をさばききれずに上へ上り、顔の赤みや耳鳴り、めまいを起こしている、つまり「冒」を起こしていると考えた(金匱要畧の痰飲咳嗽病36条と40条の「その脈虚なる者は必ず冒を苦しむ、その人本胸中に支飲有るが故也」、「支飲ある者は法当に冒すべし」の条文より)。この方の冒は、苓桂味甘の五味子ではなく澤瀉が合うと考え、澤瀉の入った支飲を治す漢方を7日分処方。

【経過・結果】

■ 10月17日

飲み始めてから4日間、「こんなにおしっこが出るの?」とビックリするほどおしっこが出た。とてもスッキリおしっこが出て体が軽くなった。4日目から、ふらつき(めまい)、耳鳴りが一切なくなった。5日目以降はおしっこの量も普通になり、症状も全くなし、3ヶ月前からずっと続いていた耳鳴り・めまいが治ったと大変喜ばれた。

【体の状態・将来】

本当は、この方は普段から水が胃腸に滞らないように、胃腸の働きを高めて水はけを良くする「温腹湯」を飲んでいくべき方です。飲んだものや食べたものが、自分で処理が出来て滞らないときは良いのですが、疲れや暑さ、冷え、過食、睡眠不足、ストレスなどで胃腸の働きが衰えてくると(この人の場合は衰えを自覚されないとは思いますが)、水が熱と気と一緒に上へ上って悪さをします。上へ上ってしまうと10月10日の漢方が必要になりますが、できればそういう状態にならないように強くして前もって予防していけるような体作りをしていくことが大切です。

漢方薬はきちんと理論を考え状態を捉えて出せば、その漢方薬を服用しての反応を見ることで、その人の病気や体の状態・体質を知ることが出来ます。それにより、その人の注意すべき食生活や養生の仕方、優先的に補ったほうが良いもの、将来出てくる症状や病気も予測することが出来ます。

漢方の専門相談は、ツルガ薬局の漢方専門相談スタッフまでお気軽にどうぞ♪